



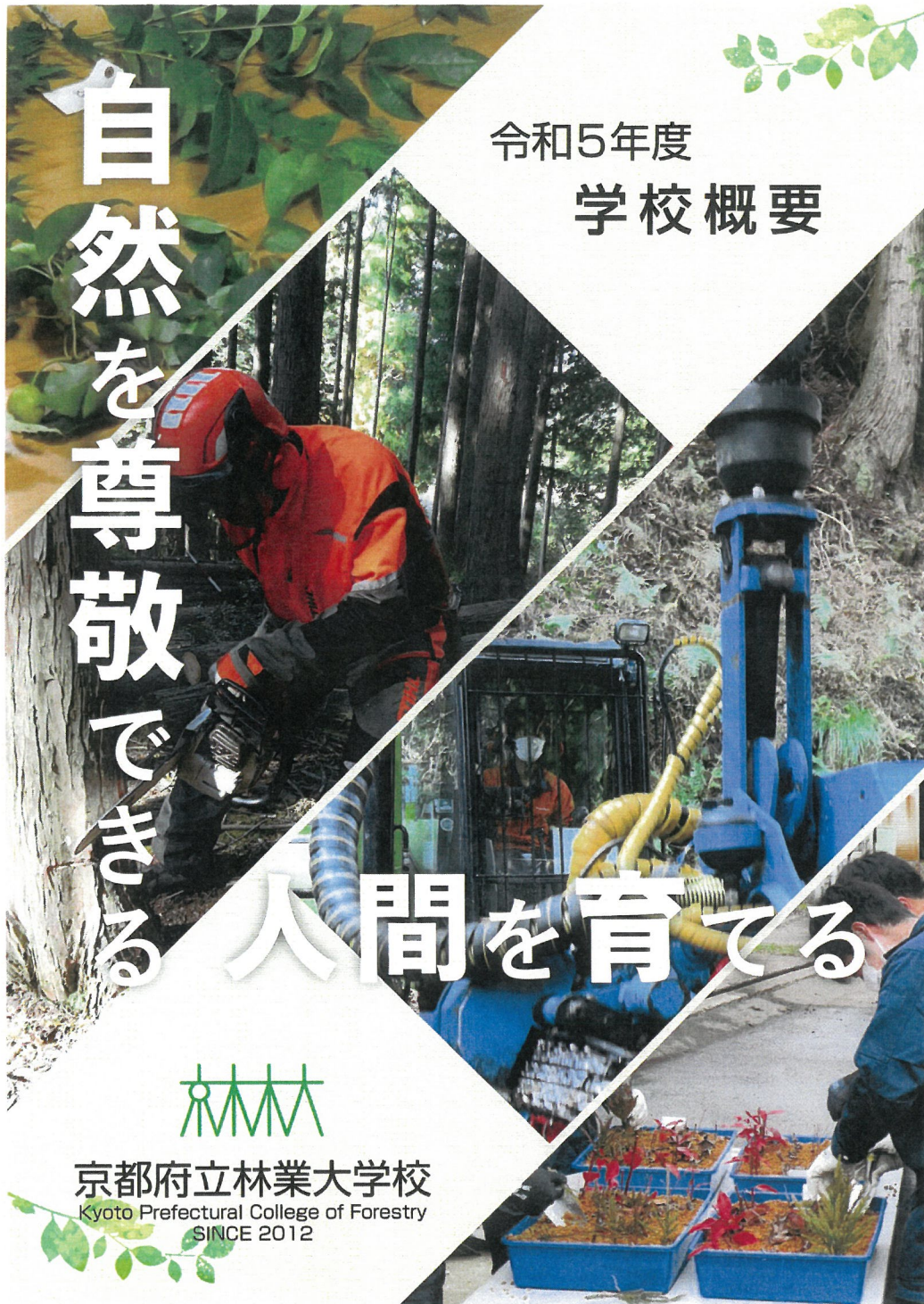
令和5年度
学校概要

自然を
尊敬
できる

人間を
育てる



京都府立林業大学校
Kyoto Prefectural College of Forestry
SINCE 2012



令和4年4月

京都府立林業大学校は 創立10周年 を迎えました



創立10周年記念式典 (令和4年11月12日(土))

京都府立林業大学校は、平成24年4月に西日本で初の林業専門の学校として、京丹波町の地に開校し、令和4年4月に開校10周年を迎えました。

これまでに卒業した164名(第1~10期生)は、地域の林業を牽引する人材として、京都府内をはじめ、全国の森林・林業・木材産業の現場の最前線で活躍しています。

今後は、スマート林業などの先端技術に関する講義を積極的に導入するなど、引き続き、即戦力となる人材の育成に取り組んでまいります。



教育理念

自然を尊敬できる人間を育てたい

都市型の消費型社会の限界が見え、人間社会の永続には、農山村型の循環型社会への復帰が必要といわれるようになった現在です。

政府も「地方創生」を標榜し、京都府も「千年の都」だけでなく京都の魅力として、「お茶の京都」、「海の京都」と共に「森の京都」を打ち出しています。

これからの循環型の人間社会、それには自然に知恵を借り、自然に倣うところが大きいのです。そのため、単に自然が好きだけでなく、自然を尊敬して、その真理・摂理を現実面に活用することの出来る人材が必要です。そして、過去猛進の消費型から循環型への復帰は急転換でなく、「徐々に徐々に」の態度と時間が必要です。

わが国の自然といえば森林が代表です。京都林大は、森林をベースにした循環型社会の実現に寄与できるこうした人材の育成を目指しております。



只木良也 名誉校長

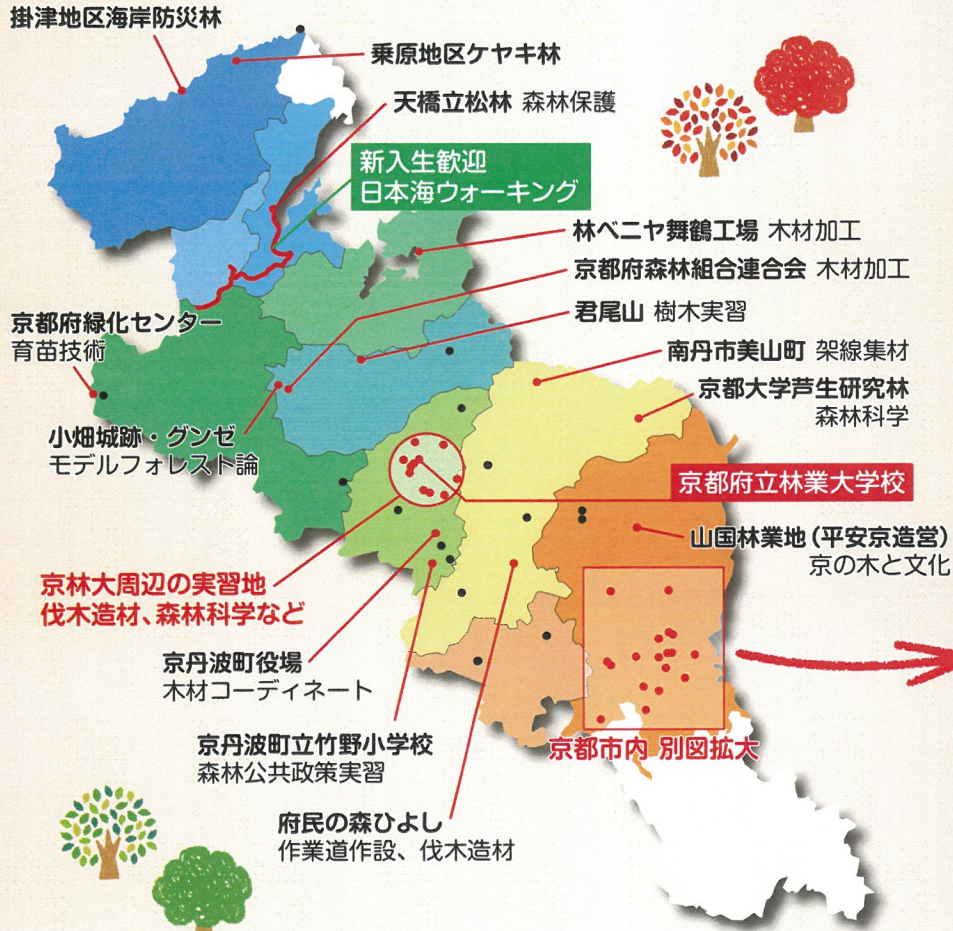
- 1~2 創立10周年を迎えました・教育理念
- 3~4 京林大の特徴 (実習地・ドイツ研修)
- 5 特別教授、客員教授
- 6 就職率、求人倍率、就職先
- 7 充実した実習時間と実学実習
- 8 京林大のインターンシップ (就業体験)
- 9 京林大で取得できる資格
- 10 森林林業科でかかる費用、修学支援制度
- 11~12 大学 高校 企業そして地域との連携

- 13 京林大の目指す教育
- 14 教育体系と各科の紹介
- 15~16 森林林業科 授業科目一覧
- 17~22 森林林業科 主な授業科目の講義の様子(風景)
- 23 卒業生の声
- 24 京林大の2年間
- 25 全国の林業大学校との交流
- 26 京林大へのアクセス

Contents

京都府内の現場が教科書です

京林大 実習地



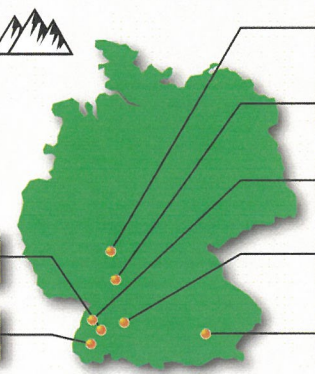
● 府外実習地 ●

三重県 (速水林業)、奈良県 (吉野林業地)、岡山県 (銘建工業、西粟倉村)

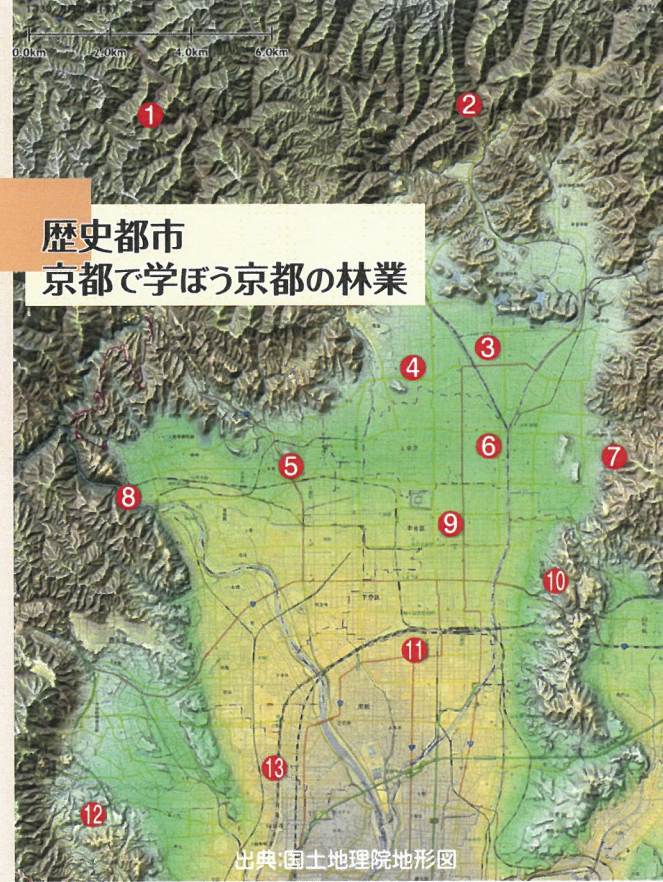
ドイツ研修



ハウザッハ (製材所)
フライブルク



フランクフルト空港
ハイデルベルク
オッフェンベルク
ロッテンブルグ
ミュンヘン空港



- 1 北山林業地 林業経営
- 2 鞍馬地区風害地 育林技術
- 3 京都府立大学 森林公共政策講義
- 4 大徳寺 京の木と文化
- 5 双ヶ丘 森林科学
- 6 京都御苑 樹木実習
- 7 法然院の森 モデルフォレスト論
- 8 嵐山国有林・府立公園 森林風致実習
- 9 京町家 木造建築
- 10 清水寺 京の木と文化
- 11 東寺 京の木と文化
- 12 松本明慶工房 京の木と文化
- 13 東洋竹工 特用林産

充実した実習時間と実学実習



里山保全・活用

モデルフォレスト論
森林保護
鳥獣被害対策
特用林産
森林機能保全

森林路網・森林計測

森林計測実習
森林作業道作設実習

木材利用

木材加工
木材コーディネート
木造建築
京の木と文化

育林技術

育林技術
育苗技術
樹木実習

森林・林業経営

森林・林業政策
林業経営
森林経営計画作成実習
森林計画概論
森林計画演習
森林施業プランナー総論

森林科学

森林科学
森林風致実習
森林科学実習

基礎能力

森林・林業の基礎(林大入門)
情報処理
救急救命

科目別 時間割合

公共人材

森林公共政策入門
公共政策入門
ケースメソッド自治体政策
政策評価論
市民参加論
森林公共政策特講
森林公共政策実習

インターンシップ キャップストーン研修

インターンシップ研修
キャップストーン研修

その他の研修等

ドイツ研修(国内研修)
特別研修
卒業研究
学校交流

林業機械

林業機械実務
林業機械化概論
林業架線
刈払い作業実習
伐木・造材実習
高性能林業機械操作士
機械操作実習
高性能林業機械操作士
搬出システム実習
高性能林業機械操作士
総合実習
林業架線実習

京林大のインターンシップ(就業体験)

インターンシップ研修

初めての
就業体験

●近隣の森林組合のご協力を得て、実際の林業の現場の仕事を体験するインターンシップを**1週間**行います。

- 実際の現場作業を経験することにより、林業の仕事のやりがいや厳しさを体感します。
- 1年生の期末**に行うことにより、1年間で培った知識と技術を確認し、2年生に向けての課題を見つけます。



1年間の
力試し

キャップストーン研修

- 就職を希望する林業事業者などで、4週間の就業体験の中で即戦力となるための総仕上げとします。**(4週間×2事業者)**
- 事業者とのマッチングや研修を通して、本校の職員がサポートして、きめ細やかな指導を受けます。
- 2年生の後期に行うことにより、就職を見越した活動として、職場の就業環境を確認したり自分をアピールする機会になります。



就職に直結

希望先を自分で選択



キャップストーンとは

ピラミッドの頂点に置かれた石を意味します。
「キャップストーン研修」には、基礎教育科目と専門教育科目の学習を踏まえ、学んだ知識・技術を実社会に適合させ、課題の認識とその解決のために活用できるようにするねらいがあります。

卒業後に必要となる、より実践的な能力の養成と実社会への適応力を養うものです。

CAPSTONE

キャップストーン研修

専門教育科目

PYRAMID

基礎教育科目

京林大で取得できる資格

高性能林業機械操作士

林業専攻で取得可能な資格です。最新鋭の高性能林業機械の操作研修と、林業事業者等での実践的な研修を経た後に、試験合格者は高性能林業機械操作士の資格が取得できます。

ヘースマシンの基本操作・構造の理解から、林業技術者として必要な基本的技術、現場に即した機械操作・状況判断能力まで、即戦力として活躍できる技術を身につけます。

京都府独自の資格

森林公共政策士

森林公共人材専攻で取得可能な資格です。

森林・林業の高い知識、技術に併せて、京都府立大学で公共政策に係る専門的な知識を身につけ、NPO等での実践的な地域活動研修を経た後に森林公共政策士の資格が取得できます。

森林公共政策士とは、森林にまつわる様々な地域の課題を解決できる即戦力として活躍できる証です。

その他の講習・資格

〈必須：在学中に受講又は取得〉

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| ① 赤十字救急法基礎講習 | ⑦ 玉掛け技能講習 |
| ② 赤十字救急法救急員 | ⑧ 不整地運搬車運転技能講習 |
| ③ 伐木等業務従事者特別教育 | ⑨ 機械集材装置運転業務特別教育 |
| ④ 刈払機安全衛生教育講習 | ⑩ 林業種苗生産事業者講習 |
| ⑤ 小型移動式クレーン運転技能講習 | ⑪ 車両系木材伐出機械等運転業務特別教育 |
| ⑥ 車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習 | |

〈任意：卒業後、申請をすることで認定を受けることができます〉

- ① 樹木医補
- ② 森林インストラクター資格試験（実技試験）免除
- ③ 森林情報士2級



森林林業科でかかる費用(2年間)

学費等	金額	備考
入学審査料	2,200 円	
入学料	5,650 円	
授業料	237,600 円	年間 118,800 円×2年
大学校指定物品及び研修旅費等(※)	700,000 円程度	テキスト・教材費、実習・研修用常備品費、研修旅費（海外含む）、傷害・賠償保険費等
合計	1,000,000 円程度	

※金額は、あくまで参考額で入学年度により変わりますので、ご注意ください。
大学校指定物品等は、入学後に購入していただきます。

修学支援制度

① 緑の青年就業準備給付金

森林林業科での研修を経て、林業分野(※)へ就業し(就業予定時年齢原則45歳未満)、中核を担うことに強い意志を持っている方で一定の支給要件を満たす方に、就業に向けた研修期間中に最長2年間、最大で年間140万円程度(予算により変動します)を準備金として給付する制度です。

ただし、林業分野へ就業しなかった場合、本給付金の返還義務が生じます。

※ 林業分野：森林組合、林業事業者など

② 修学資金制度(京都府独自制度)

森林林業科を卒業後、京都府内において林業等に就労しようとする学生については、無利息で授業料及び入学料を貸与する修学資金制度を設けています。

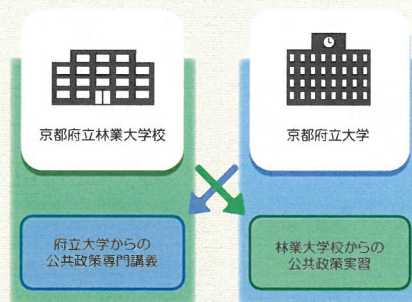
貸与を受けた資金は、京都府内で5年間、林業等に就業、従事した場合は、全額返還が免除されます。

③ 指定物品購入支援制度(京都府独自制度)

林業大学校が指定する授業、実習及び研修を受講する際に必要な物品の購入等に要する経費の2分の1以内を補助する制度を設けています。

森林林業科を卒業後、京都府内で5年間、林業等に就業、従事することが条件です。

本校では、京都府立大学との交流と協力を促進し、教育内容の充実、発展を図ることを目的として、包括協定を締結しています。



【協定の主な内容】

- 森林林業科の森林公共人材専攻で、「森林公共政策士」に必要な公共政策の専門講義を府立大学から提供を受けます。
- 府立大学は、公共政策実習の実習先を本校から提供を受けます。



林業先進国であるドイツに本社を置く、世界的なチェーンソーメーカーである株式会社スチールと、教育活動に関する協力協定を締結しています。

本校のカリキュラムにおいて、同社の最先端のノウハウを取り入れた講義・実習を提供するとともに、ドイツでの海外研修を2年生の6月に実施します。

【協定の主な内容】

- 専門技術スタッフを派遣
- 最新型のチェーンソーを使用した講義・実習支援
- 林業先進国ドイツでの研修及び地元林業大学との交流支援



京都府立
北桑田高等学校

本校では、京都府内唯一の林業専門学科「京都フォレスト科」を有する北桑田高等学校と連携プログラム実施に関する協定を締結しています。

この協定では、両校が行っている独自の講義や実習を連携・補完することによって、幅広い知識や技術を理解することを目的としており、今後、両校が京都の森の担い手育成拠点として共に発展していくことを目指しています。

大学 高校 企業
そして 地域との

連携

地域をあげて
林業大学校を
サポート

林業大学校地域連携協議会

本校の開校を契機に、地域住民との連携、絆づくりを目指し、京丹波町が中心となって「林業大学校地域連携協議会」が発足し、地域ぐるみで学生生活をサポート。本校からも地域貢献活動、地域の祭り等の行事参加を積極的に進めています。



若い林業の担い手を
森林・林業界全体で
サポート

森林・林業関係者から木材業関係者まで、森林・林業・木材業界が一体となって力を合わせ、担い手の育成から就業までを一貫して支援するため、「京都府林業の担い手交流・育成協議会」が発足。交流会、研修会などを通して学生生活から就業までサポートするとともに、担い手同士が交流し、支え合いながら成長することを支援します。

また、京都府林業振興会並びに京都府森林組合連合会からは新入生全員に、毎年、ナタ、ノコギリ、剪定鋏の寄付を受けています。